

RIKEN EVENING SEMINAR

理研イブニングセミナー (東京開催)

【シリーズ企画】

マイクロバイオーム の健康機能

ヒト腸内マイクロバイオームと健康、疾病との関係が、最新のサイエンスの進展によって解明されることが期待されています。また、日本は長寿国であることから、和食文化とともに、その影響を受ける腸内マイクロバイオームの健康への関与が注目されています。

今回、マイクロバイオーム研究の3つの切り口（メタゲノム研究、メタボローム研究、予測科学）から、健康増進や疾病予防につながる腸内マイクロバイオーム機能の最新トピックスを紹介いただき、新たな機能性食品素材の開発へのヒントとしたいと考え、「マイクロバイオームの健康機能」の3回のセミナーを企画しました。

味の素株式会社 イノベーション研究所
基盤技術研究所 微生物基盤研究グループ
グループ長 梶浦 貴之

第53回 シリーズ①

10月17日（水）17:30～18:40

発表者：須田 亙

生命医科学研究センター
マイクロバイオーム研究チーム

「ヒト常在細菌叢の基本的構造および
メタゲノム解析手法論」

第55回 シリーズ②

11月21日（水）17:30～18:40

発表者：有田 誠

生命医科学研究センター
メタボローム研究チーム

「腸内環境のリピドミクスと機能性脂質の探索研究」

第58回 シリーズ③

1月16日（水）17:30～18:40

発表者：菊地 淳

環境資源科学研究センター
環境代謝分析研究チーム

「食と代謝の予測科学
—IoT/ビッグデータ/AI時代の恒常性管理—」

【会場】

理化学研究所 東京事務所
東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目
三井ビルディング 15階



【お申込み】

理研 イブニングセミナー事務局 担当：米野

Email: : evening-seminar@riken.jp

件名を「X/X 理研イブニングセミナー参加申込」とし、お名前・ご所属・連絡先アドレスをご記入のうえ、メールでお手続きください。

第53回 シリーズ①

10月17日（水）17:30～18:40



発表者：須田 亙

生命医科学研究センター
マイクロバイオーム研究チーム

研究チームの
紹介ページ⇒



「ヒト常在細菌叢の基本的構造 およびメタゲノム解析手法論」

近年、ヒト常在細菌研究が著しい発展を遂げており、常在細菌がホストの健康/疾患と密接に関連することが明らかにされつつある。この発展の背景には次世代シーケンサーが開発され、複雑な生態系である常在細菌叢に対して網羅的なシーケンス解析（メタゲノム解析）が可能になったことがある。本講演では発表者らがこれまでに進めてきたメタゲノム解析からわかってきたヒト常在細菌叢の基本的な構造と、解析の手法論について紹介する。

第55回 シリーズ②

11月21日（水）17:30～18:40



発表者：有田 誠

生命医科学研究センター
メタボローム研究チーム

研究チームの
紹介ページ⇒



「腸内環境のリピドミクス と機能性脂質の探索研究」

腸内細菌叢と宿主との相互作用において、腸内細菌由来の代謝産物が宿主側のホメオスタシスや疾患制御に関わる可能性が指摘されています。私たちは、質量分析システム（LC-MS）を用いた最先端のリピドミクス解析技術を駆使して、腸内環境における構造多様性に富んだ脂溶性代謝物の包括的解析を行い、その中から疾患制御に関わる重要な機能性分子の同定を目指しています。

第58回 シリーズ③

1月16日（水）17:30～18:40



発表者：菊地 淳

環境資源科学研究センター
環境代謝分析研究チーム

研究チームの
紹介ページ⇒



「食と代謝の予測科学

—IoT/ビッグデータ/AI時代の恒常性管理—

「健康」という曖昧な状態を定量的に定義することは難しいですが、恒常性の維持と破綻、さらには言えば破綻の予兆はビッグデータ蓄積と解析評価で判定できます。本セミナーでは、非線形解析や機械学習を駆使した分類・回帰と重要因子探索、ならびに分析ビッグデータと表現型との統合解析法を解説すると共に、食と代謝の予測科学の将来展望を議論します。

